かけはし

<1面>・「新潟県教育の日」について

・11月1日(土) 教育の日記念イベント開催!

令和7年(2025年)10月17日発行 新潟県教育委員会

- 関連イベントの紹介
- 「教育の日」ノベルティ配付!
- <2・3面>これからの高等学校の学びの姿

「新潟県教育の目」について

| | 月 | 日は「新潟県教育の日」です!!



○令和4年12月に「新潟県教育の日に関する条例」が制定されました。 この条例は、県民一人一人が教育の重要性を認識し、生涯にわたって学んだことを社会で生かすこと のできる教育環境の整備を目的としています。

○11月1日は「新潟県教育の日」、11月は「新潟県教育月間」です。

11月1日(土) 教育の日記念イベント開催!

県民の皆様に教育の重要性を認識いただく きっかけづくりとして、11月1日(土)に「新潟 県教育の日」記念イベントを開催します。

イベントテーマ:

これからの小中高等学校の学びの姿と遠隔教育

講演のほか、県内で実際に行われている遠隔授業を実演します。 住む場所に関わらず多様で質の高い教育を実現するために、重要 な役割を担う遠隔教育の可能性について、考えてみませんか。



詳細はこちら

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/ky oiku/kinennibennto.html





関連イベントの紹介

その他県内各地では「新潟県教育の日」に関連 するイベントを開催しています。 回数据数据回 ぜひ、ご参加ください!

詳細はこちら

https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/kannrenniben nto.html

「教育の目」ノベルティ 配付

県立歴史博物館、県立近代美術 館にて、ノベルティを配付します!

【ノベルティの配付を行う日】 県立歴史博物館:

10月26日(日)、11月15日(土)、

11月22日(土)、12月20日(土)





特別支援学校が作成した

グッズ (コースター、ペン

立て、小物入れ等)です。

長岡市関原町1丁目2247-2 TEL:0258-47-6130 URL:https://nbz.or.jp/

県立歴史博物館



県立近代美術館 長岡市千秋3丁目278-14 TEL:0258-28-4111



県立近代美術館:

これからの高等学校の学びの姿



教育の日記念イベントのテーマである「遠隔教育」について紹介します。

新潟県では少子化や学校の小規模化が急速に進んでいる… →将来どこの学校に通っていても、同じような学びができるの?





「学習の機会の確保」及び「教育の質」を維持していくために、 今後、遠隔教育が重要な役割を担います。

現在の県教育委員会の取組みを紹介します。

でも、遠隔教育って、 ただ映像を視聴す るだけなのでは…?

これまでの県の取組み

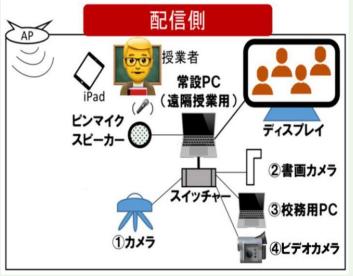
新潟県では、離島・中山間地域における高校の教育環境の充実に向け、令和3年度から令和5年度までの3年間、国の事業を活用した「新潟の未来をSaGaSuプロジェクト」において、遠隔教育の実証研究を実施してきました。

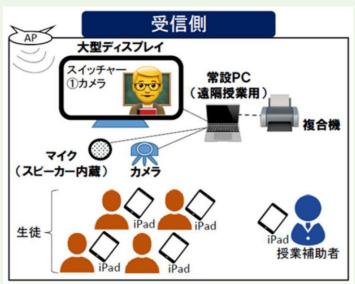
その後も遠隔教育を拡充しており、令和7年度は、17校で延べ23科目にわたり遠隔授業を実施しています。

SaGaSuプロジェクトについて詳しくはかけはし57号をご覧ください!



遠隔授業システムのイメージ





次年度の取組み

これまで培ってきた遠隔教育の取組を全県に拡大するため、令和8年度に新たに開校する碧高校(現 新潟北高校校舎内に開校)に「配信センター」を開設します。

「配信センター」には、各教科・科目の専任教員が配置され、小規模校における多様な科目開設や、生徒の習熟度に合わせた授業の実施に取り組みます。

また、複数の学校を同時に接続した形態の 授業も実施し、小規模校における協働的な 学びの機会の確保を図ります。





今の遠隔教育は映像を見るだけじゃなくて、「双方向」のやり取りができて、タブレットの利用によって生徒の理解状況も分かるんだね!

将来の展望

遠隔教育の導入により、生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な選択科目の開設に加え、学校間連携や外部人材との連携などを進めることで、生徒の個別最適な学びや協働的な学びの充実が期待されます。

新たに設置を進めている「セルフデザインハイスクール」※では、同時双方 向型の遠隔授業とともに、オンデマンド型授業を配信できる体制を構築す ることにより、多様な学習ニーズにも柔軟に対応できる支援を展開するこ

とが可能となります。

※「セルフデザインハイスクール」・・・ 従来の定時制課程の仕組みをベースとした「通 学コース」と、通信制課程の仕組みをベースとし た「オンラインコース」が設置され、生徒それぞれ の学習状況や生活スタイルに合わせて、両コー スの授業を選択することが可能です。

「配信センター」を中心と する遠隔教育推進体制の イメージ

